

# 受験スケジュールの戦術を立てよう

## 1. 国公立大学志望者の場合

総合型選抜や学校推薦型選抜(公募制と指定校制)の受験を考えている人であっても、それらで合格を勝ち取れなかった場合、一般選抜を受験することになる。

一般選抜の可否判定 (多くの場合) …… 「共通テスト(1月)の点数」 と 「大学個別の二次試験(2月3月)の点数」 の両方

出願は共通テスト終了後。自己採点の結果をもとにして、どの大学に出願するか検討する。  
前期日程も後期日程も同時に出願 (前期の合否発表の後で後期日程を検討することはできない)。

もしも、、、共通テストで思うような点数が取れなかったら。。。 **第一志望ではない国公立大学を受験するか？ 私立大学を受験するか？ 浪人をするか？**  
これらのことを自己採点の後にゆっくり考える時間的余裕はない。今のうちから「もしも」に備え次のことを調べ、考えておこう。

### ① 共通テストで、思うように点数が取れた場合【プランA】、取れなかった場合【プランB】の国公立大受験校は？

(1)前期日程、中期日程、後期日程に1校ずつ出願することができる。

→それぞれの日程で【プランA】【プランB】それぞれどこに出願するか？

「得点率が〇%なら△△大学に出願する」と、事前に決めておくとうまい。得点率の5パーセント刻みで想定しておくとうまい。

(2)国立大であっても、前期日程と後期日程の両方を設定していない場合もある。

→自分の志望する大学、学部の日程はどうか？

補足

- ・後期日程を設定しない大学も増えてきているため、後期日程の競争率は高くなる傾向になる。
- ・中期日程は一部の公立大のみ(国立大には中期日程はない)。
- ・前期、中期、後期に縛られない、独自日程を設定する大学もある。どうしても国公立大がよいのであれば、受験の検討を。  
国際教養大学(秋田)、新潟県立大学(新潟)、叡啓大学(広島)
- ・前期で合格し入学手続きを行った場合、中期や後期を受けても、合格の権利を失うため、第一志望校は前期日程で受験する必要がある。

### ② 私立大学の受験校は？

「私立大学に行く予定はない」という人でも、第一志望校より先に私立大学の受験を経験することで、入試独特の緊張感に慣れておくことができる。合格すれば気持ちに余裕が生まれ、落ち着いて第一志望校の入試を迎えることができる。次の **2. 私立大学志望者の場合** も併せて読んで欲しい。

## 2. 私立大学志望者の場合

総合型選抜や学校推薦型選抜(公募制と指定校制)の受験を考えている人であっても、それらで合格を勝ち取れなかった場合、一般選抜を受験することになる。

もしも、、、、、、第一志望の大学に合格することができなければ。。。。 **第一志望ではない私立大学を受験するか？ 浪人をするか？**  
今のうちから「もしも」に備え次のことを調べ、考えておこう。

### ① 志望大学の学部学科の、受験チャンスは何回あるか？

私立大学の場合、受験日を複数設定している場合が多い。日程さえ重ならなければ何回でも受験することができる。1回の試験で複数学部学科への出願ができることもある。

### ② 近隣の大学は併願校にどうか？

本州まで受験に行く場合、近い日に近隣の他大学を受けて札幌に戻ってくる人も多い。近隣の他大学の情報も集める価値あり。

### ③ 「共通テスト利用」はできるか？

共通テストの点数だけで合否が決まる試験パターンもある。競争率は高いが、共通テストさえ受験していれば、可能性が広がる。

## 3. 看護志望者の場合

**1. 国公立大学志望者の場合、2. 私立大学志望者の場合** と併せて、専門学校(高専)も視野に入れて検討しよう。  
看護師の資格をとることができる学校は、道内にたくさんある。

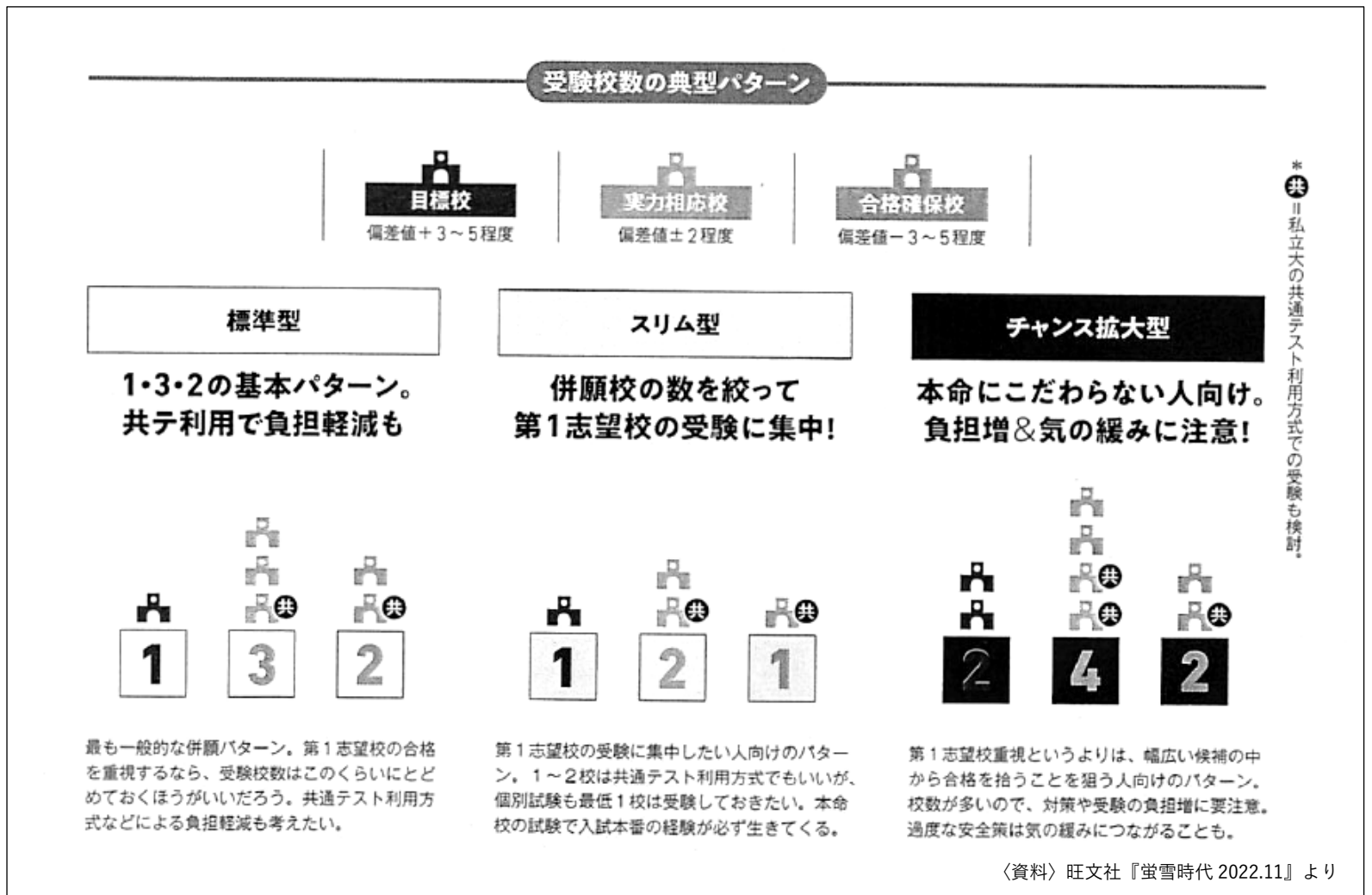
## 4. 専門学校、短大、公務員、就職志望者の場合

試験日を確認しよう。クラスのほかの人たちよりも試験日が早いことが多いため、遅くなると受験チャンスを逸してしまう。  
困っていたら担任の先生に個別に相談を。

裏面では、受験校（併願校）決定のポイントについて紹介します。参考にしてください。

## CHECK! ① 難易度

目標校、実力相応校、合格確保校を考えると良いでしょう（下図）。学校選びに迷ったら、4月返却スタサポ結果の後ろのページや、教室に置いてある『栄冠目指して 2022 vol.3』9ページ以降、模試の目標点数入力に使う「マナビジョン」のサイトなどを参考にしてください。



## CHECK! ② 入試科目・配点

第一志望校に向けた努力が生かせるところを併願校に選びましょう。

入試科目が大きく異なると、併願校の対策に時間を取られ、第一志望校の対策に支障が出ます。併願校には第一志望校の入試科目を利用して受験できる大学・入試方式を選ぶようにすると良いでしょう。記述式かマーク式か、配点や出題傾向も要チェックポイント。進路資料室の「赤本」や『全国大学入試問題正解』、サイト「パスナビ」(無料会員登録が必要)を活用しましょう。

## CHECK! ③ 受験費用・学費

受験に掛かる費用を今のうちに見積もり、保護者に伝えておきましょう。受験料+交通費+宿泊費です。旅行代理店が「受験パック」なども販売しています。受験料は、各学校のHPで調べましょう。4月に配付した『トライアルファ4月号』に初年度納入金(入学金+授業料など)を含めた一覧が出ていますので、保護者の方と一緒に確認してください。

「学費ナビ」のサイトも参考にしてください。



### ◆◆◆そのほか◆◆◆

- ・札幌で受けることができる本州の大学一覧を、年次の googleclassroom に配信します。
- ・「受験スケジュール戦術シート」を併せて配付します。ゴールデンウィーク中に書いてみよう。
- ・「受験スケジュール戦術シート」に記載した学校は、次の模試の志望校判定に書こう。
- ・自分の受験スケジュール戦術は、夏の三者面談で語るできるようにしよう。

・47期生の受験する入試は「**2024年度入試**」です。間違えないように。5月時点での情報は、一つ古い「2023年度入試」のものがほとんどです。みなさん向けの入学者選抜要綱は、6月以降に各大学から発表される予定です。